



菅波 茂

一九九四年十月二十日—二十六

日にわたって開催された国際貢献
NGOサミットで採択された「岡
山宣言」で発足した「緊急援助と
開発のための国際NGOネットワ
ーク INNED」について説明
したい。INNEDはアジア、ア
フリカ、環太平洋諸国と日本を結
ぶ「NGOスーパースタイル」
である。このハイウェイ上を何が
走るのか。それは世界の子どもたち
の命を守るために必要な保健、医
療、教育、環境など様々な問題解
決のためのプロジェクトである。
岡山を中心とした日本から海外へ
のプロジェクトもあるし、岡山に
来られた海外のNGOがそれぞれ
の得意分野における知識と経験で
相互協力するプロジェクトもある。

る。

多様性の共存

現在の国際社会の課題は「多様

性の共存」である。

多様性の異質性は時
として紛争の原因と
なりやすい。「多様
性の共存」は共通の
目標に向かって努力
するときのみ可能に
なる。

例としてAMDA
の「アジア多国籍医
師団を紹介したい。
この医師団は緊急援
助事態発生時にAM
DA加盟国の医師に
よって編成され、世
界中必要とされるところへ派遣さ
れて医療プロジェクトを実施して

いる。現在はソマリア難民、モザ
ンビーク難民、そしてルワンダ難
民などの救援医療活動を展開して
いる。参加メンバーの背景には多
言語、多宗教、そして多文化があ
る。しかし多様性の異質性より人
道援助活動に必要な医師としての
職業的倫理観がすべてに優先して
いる。テントの中で難民のために
一緒に協力しあうことにより相互
信頼感ができてすばらしい人間関
係になる。この人間関係が「多様
性の共存」の基本となるのである。
プロジェクトは共に実施する相
手がいなければつれない。プロ
ジェクトが無ければ人間関係をつ
くる機会がない。人間関係がなけ
れば「多様性の共存」も難しい。
INNEDとは世界の人達が参加
して、すばらしい人間関係を約束
するプロジェクトが走る「夢のス
ーパースタイル」なのである。
同時に「西のシユネーブ、東の岡
山」への第一歩でもある。

(アジア医師連絡協議会代表・題
字は筆者)